

夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 第2回企画部会 概要

会議名	夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 企画部会 (第2回)
日時	平成30年10月2日(火)10時00分～11時45分
出席	井村良英、安部芳絵、山中ゆう子 (委員名簿記載順・敬称略) [事務局] 吉田子ども家庭部長、伊藤子育て推進課長、二階堂、海野、木村 [株式会社地域計画連合] 相羽主任研究員、柳坪主任研究員、渡邊研究員
欠席	米原立将
配布資料	(1) 第4次プラン策定スケジュール (案) (2-1) 第3次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン市民意向調査概要 (2-2) 第3次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン市民意向調査 質問項目一覧 (3) 他自治体における「子どもの貧困」に関する調査について (4) 幼児教育の無償化に関する資料
会議場所	立川市役所 2階 210 会議室

1 第4次長期総合計画後期基本計画検討委員の推薦について

- ・ 委員を関連団体から選出するものである。山中会長を推薦することとし、次回推進会議にて正式に決定する。

2 第4次夢育て・たちかわ子ども21プラン策定のスケジュールと推進会議の運営について

1) 方針の確認

【スケジュール (案) について】

- ・ 委託業者が決定し、今後、量の見込み・確保方策を検討するためのニーズ調査を含む市民意向調査を実施する。それに先立ち、推進会議に諮問を行う。同会議では2回にわたり調査票について検討する。調査実施後、集計・分析を行い、3月上旬に結果速報を示す予定である。

【推進会議の運営について】

- ・ 総合計画後期計画の議会のスケジュールを踏まえ、完成までに年7回程度実施予定。H32年9月議会で成果品を提示する。

【次期計画の変更点に対する方針について】

- ・ 総合計画後期基本計画と整合性を図る関係で、施策体系は第3次プランから大きく変更を行わないが、追加事項として、「子どもの貧困」の考え方を加える予定であり、全体に内包させる方向で考えている。
- ・ 現在、取組項目が多くなっている。また、再掲もある状況で、市民からはわかりにくいという指摘がある。一方、分野として深く入っている点からは、現計画は網羅されており内容が充実しているという印象がある。今後、どちらの方向でまとめていくか推進会議で検討していく。

2) 市民意向調査

- ・ 前回の市民意向調査における調査対象は6種類 (就学前児童の保護者、小学生の保護者、中学生・高校生世代の保護者、小学校5年生子ども本人、中学校2年生・高校2年生子ども本人、ひとり親家庭の保護者) であり、今回もこの6種類を調査対象とし、

配布件数等を同程度で検討する。

3 市民意向調査の質問項目について

1) 追加すべき設問等について

(全調査票に共通する意見)

- ・ 性別に関する選択肢に「答えたくない」「回答したくない人は無回答でもよい」を追加する。

(子ども本人調査票に関する意見)

- ・ インターネットやメールの利用状況に関する設問があるが、「SNS」に変更するほうが現状に見合う。また、子どもにとってのSNSがもつ自己肯定感への影響について把握する必要がある。
- ・ 保護者向けに子どもの悩みや過ごしている場所を知っているかという設問があるが、子ども本人にも親が自分の悩みなどを知っていると思うか、などの設問を入れ、比較ができるような形にするに設問を加えてほしい。

2) 「子どもの貧困」に関する設問等について

(全調査に共通する意見)

- ・ 困ったときに困ったと言えなかった経験の有無を聞く設問を加える。いずれも、東京都福祉保健局で実施された「子供の生活実態調査」調査票を参考にすべきである。
- ・ 貧困層の人数把握よりも、生活困難な状況に陥っている家庭がどういった支援を必要としているかを把握することに重きを置く。
- ・ 不登校の子どもや若年出産の保護者が支援の輪から抜け落ちないように、児童館、託児可能な学び直しの場、子ども・若者ネットワーク等の周知度に関する設問を追加すべきである。

(保護者への調査に関する意見)

- ・ 習い事や部活を我慢させた経験の有無、制服のリサイクル等がある場合の利用意向、歯磨きの状況に関する設問を加える。また、貧困だった場合に、どういった支援が欲しかったかを聞くべきである。
- ・ 保護者自身が、過去に虐待を受けたことや、親に叩かれた経験等を聞く設問を加える。

(子ども本人への調査に関する意見)

- ・ アルバイトについては単にやっているかだけでなく、その給料を学費等への利用について聞く。また、アルバイトに関連して、携帯代を自分で払っている状況などが分かるようにする。
- ・ 家庭における手伝い(家事や下の子の面倒を見るなど)、ユニフォーム等が買えなくて授業や行事に参加できなかった経験の有無に関する設問を検討する。
- ・ 貧困で生活困難に陥っている子どもがいる一方で、習い事などで親に全て管理されている状態にいる子どももいる。どちらも見つつ、立川市においてはどちらの傾向が強いのかも把握できるとよい。

【 1)、2)での議論を踏まえた今後の方針】

- ・ 今回の部会で挙げた意見に基づき変更・追加を行う。ただし、就学前児童の保護者

調査票については、既に設問数が膨大であるため、大きな変更・追加は行わない。

- ・ サンプル数の少ない調査票については、サービスの周知度を聞く設問でとどまらせる。
- ・ 子どもの貧困に関する設問については、部会で出された意見を踏まえるととともに、東京都の「子供の生活実態調査」調査票を参照しながら追加すべき設問を検討する。

4 10/25推進会議 提出資料の確認について

- ・ 調査票案に加えて、市民意向調査のこれまでの経緯、国が示している内容、立川市としての姿勢と、前回調査からの変更点がわかるような資料を用意する。

5 その他

1) 10/25推進会議（第6回）の議事について

- ・ 主な議事は「調査票の検討」とする。

2) 調査票の回収率向上に向けて

- ・ 発送・配布を行う前からの情報発信が必要である。
- ・ 他に、市のツイッターや保育所・幼稚園・学校での発信協力依頼などが考えられる。
- ・ 高校生本人に関する回収率向上については、推進会議等でアイデアを募る。

3) 第7回推進会議の日程について

- ・ 11月20日（火）午後6時30分から、市役所101会議室で。

以上